



熊本県立湧心館高等学校 図書館活動報告

令和7（2025）年3月

学校の概要

昭和54年 熊本県立江津高等学校（定時制・通信制）として開校
平成4年 熊本県立湧心館高等学校に校名を変更
平成8年 全日制が加わり3課程となる
令和元年 創立40周年を迎える

全日制： 普通科 / 情報処理科
定時制： 普通科 / 情報科学科
通信制： 普通科

図書館の基本情報

（令和6年3月末時点）

蔵書冊数：29,165冊
年間購入冊数：494冊
貸出冊数
全日制：1,121冊（1人あたり4.6冊）
定時制：156冊（1人あたり1.8冊）
通信制：155冊（利用登録者数14人）

本校は全日制、定時制、通信制の3課程からなる単位制高校で、将来の目標や興味・関心にあわせて授業科目を選択して学習することができる。

図書館は3課程の生徒・職員がともに利用しており、通信制生徒のスクーリング時や定時制による夜間の利用もある。学校司書は全日制所属の1名のみなので、司書がいない時間帯でも使いやすく居心地のいい場所となるよう気を配っている。また、3課程の関係職員が協力して利用する人みんなにとって気持ちよく使える場所を目指して活動している。

図書館の活動

(1) 朝読書の実施(全日制)

毎朝8時30分から10分間の朝の読書を実施しており、普段は本を読むことが少ない生徒も読書に取り組む貴重な時間となっている。読書の経験を積んだり本を読めるという自信を育んだりする機会となっている様子も見られる。

(2) 授業での利用(全日制)

総合的な探求の授業を中心に、年々授業での利用時間が増え、令和5年度は年間の利用時間が延べ195時間(自由読書・自習も含む)だった。場の提供に加え、資料の準備の一環として図書館で作成した引用や参考文献の書き方をまとめたプリントや調べ学習用のワークシートを常設し、誰でもいつでも自由に使えるようにしている。



(3) 図書委員会活動(全日制)

月に1回開催される委員会の他、展示班、広報班、放送班の各班による活動に取り組んでいる。文化祭では県立図書館の絵本展「みんなちがってみんないい」をお借りして、絵本展とバリアフリー読書に関する展示を行った。これに加え、リーディングトラッカー作成体験コーナーや図書館クイズ(本探し)を企画し、普段は図書館を利用することが少ない生徒にも立ち寄ってもらえる企画になるように工夫して取り組んだ。

この他、展示班の担当者を中心に1・2年生全員で卒業式と入

学式の期間に体育館で展示する、詩や絵本から選んだ「贈る言葉」を製作した。



文化祭の展示(図書館入口)



卒業式・入学式むけの展示

(4) 「りんごの棚」

特別なニーズがある人も利用しやすい形式の資料や読書バリアフリーに関する本を購入し、やさしい日本語に関する図書などとまとめて「りんごの棚」を設置した。今後は自分に適した読書のやり方やバリアフリー読書を広く知ってもらおうサポートにも取り組んでいきたい。



(5) その他

- ・図書館ニュース、Google サイトでの発信
- ・カーリルによるインターネット上での蔵書検索への対応
- ・季節や行事にあわせた展示やミニコーナーの設置
- ・しおりプレゼントキャンペーンなどのプチイベントの実施
- ・多読者への豆本プレゼント
- ・レファレンス協同データベースへの参加

成果と課題

授業での図書館利用により、普段図書館を利用しない生徒が来館する機会が生まれるなど、授業利用そのものに限らない効果があると思われる。ただ、生徒の調査行動の第一段階はインターネット検索が定着していて第一段階で疑問が解決すると図書による調査には至らないことが多く、様々な情報資源を選択的に利活用するためのリテラシーに課題が多いと認識している。貸出冊数も減少傾向にあるので、今回ご寄贈いただいた図書カードで一人一人に応じた多様な読書に関する本を中心に、総合的な探求に関する資料、リクエストや問い合わせを受けた本の購入させていただいた。これらの本も活用し、「読書センター」「情報センター」「学習センター」としての機能と、3課程全体にとっての「ひろば」として充実を図っていきたい。